



安川電機 (6506)

2013年度4-12月期業績概要

(対象期間: 2013年3月21日～2013年12月20日)

本資料に記載されている業績見通し等に関する将来の予測は、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまな要因により、この見通しとは異なることがあります。

実際の業績等に影響を与えうる重要な要因には、当社の事業領域を取り巻く国内外の経済情勢、当社製品・サービスに対する需要動向、為替・株式市場の動向などがあります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

目次

1. 2013年度4-12月期決算

- ・2013年度4-12月期実績
- ・事業セグメント別売上高構成比(12/4-12月期 ⇒ 13/4-12月期)
- ・仕向先別売上高・売上高構成比(12/4-12月期 ⇒ 13/4-12月期)
- ・営業利益増減要因分析(12/4-12月期 ⇒ 13/4-12月期)

2. 2013年度通期見通し

- ・2013年度通期業績見通し

3. 参考資料

- ・設備投資、研究開発費、為替状況(2011～13年度計画)
- ・連結売上高・営業利益推移(2003～15年度計画)
- ・B/S構造の推移
- ・四半期連結売上高推移
- ・アジア地域における取り組み
- ・主要生産拠点

セグメント別事業概要

モーションコントロール:(M)

【主要製品】

- ・ACサーボモータ、コントローラ
- ・リニアサーボ
- ・インバータ
- ・パワーコンディショナ
- ・EV用モータドライブシステム など



ACサーボ



汎用インバータ



太陽光発電用
パワーコンディショナ



EV用モータドライブ
システム

ロボット:(R)

【主要製品】

- ・産業用ロボット
 - アーク・スポット溶接・塗装ロボット
 - FPD搬送ロボット、新世代ロボット、ハンドリングロボット
- ・半導体製造装置用ロボット
- ・バイオ・メディカル用途向けロボット など



レーザー切断・溶接対応
高精度軌跡ロボット



バイオメディカル向け
新形双腕ロボット



パラレルリンクロボット

システムエンジニアリング:(S)

【主要製品】

- ・鉄鋼プラント用電機システム
- ・上下水道用電気システム
- ・大型・小形風力発電機 など



上下水道用電機システム



連続鋳造設備



大形風力発電用
発電機とコンバータ

その他

【主要製品】

- ・情報関連事業
- ・物流サービス など



ハイパワーレーザー対応スキャナヘッド



ワイヤレスM2Mサービス
(通信アダプタ)

1. 2013年度4-12月期決算

2013年度4-12月期実績(概要)

- ・海外生産・調達を加速し質を改善
- ・円高是正を背景に大幅増収増益

	<u>13/4-12月期</u>	12/4-12月期	<u>前年同期比</u>	
売上高	<u>2,596億円</u>	2,191億円	<u>+405億円</u>	<u>+18.5%</u>
営業利益	<u>171億円</u>	68億円	<u>+103億円</u>	<u>+151.6%</u>
経常利益	<u>185億円</u>	75億円	<u>+110億円</u>	<u>+145.9%</u>
四半期純利益	<u>113億円</u>	39億円	<u>+74億円</u>	<u>+191.5%</u>

2013度4-12月期実績(セグメント別)

- ・太陽光パワコンを中心に(M)が大幅な増収増益
- ・好調な自動車向けを中心に(R)も増収増益

(単位:億円)

	2013/4-12月		2012/4-12月		前年同期比	
		利益率		利益率	増減額	増減率
売上高	2,596	-	2,191	-	+405	+18.5%
(M) モーションコントロール	1,206	-	931	-	+275	+29.6%
(R) ロボット	865	-	773	-	+93	+12.0%
(S) システムエンジニアリング	224	-	261	-	▲38	▲14.4%
その他	301	-	226	-	+74	+32.8%
営業利益	171	6.6%	68	3.1%	+103	+151.6%
(M) モーションコントロール	120	10.0%	14	1.5%	+106	+746.9%
(R) ロボット	65	7.5%	46	5.9%	+19	+41.5%
(S) システムエンジニアリング	▲9	▲3.9%	6	2.3%	▲15	-
その他	5	1.6%	3	1.1%	+2	+86.9%
消去または全社	▲10	-	▲0	-	▲10	-
経常利益	185	7.1%	75	3.4%	+110	+145.9%
四半期純利益	113	4.3%	39	1.8%	+74	+191.5%

2013年度4-12月期実績(セグメント別)

(M):

- ・ACサーボは、国内外とも好調に推移
- ・インバータは、太陽光パワコンの売上増加が牽引
- ・前年同期比で大幅な増収増益

(R):

- ・国内外とも自動車向けが牽引し、増収増益

(S):

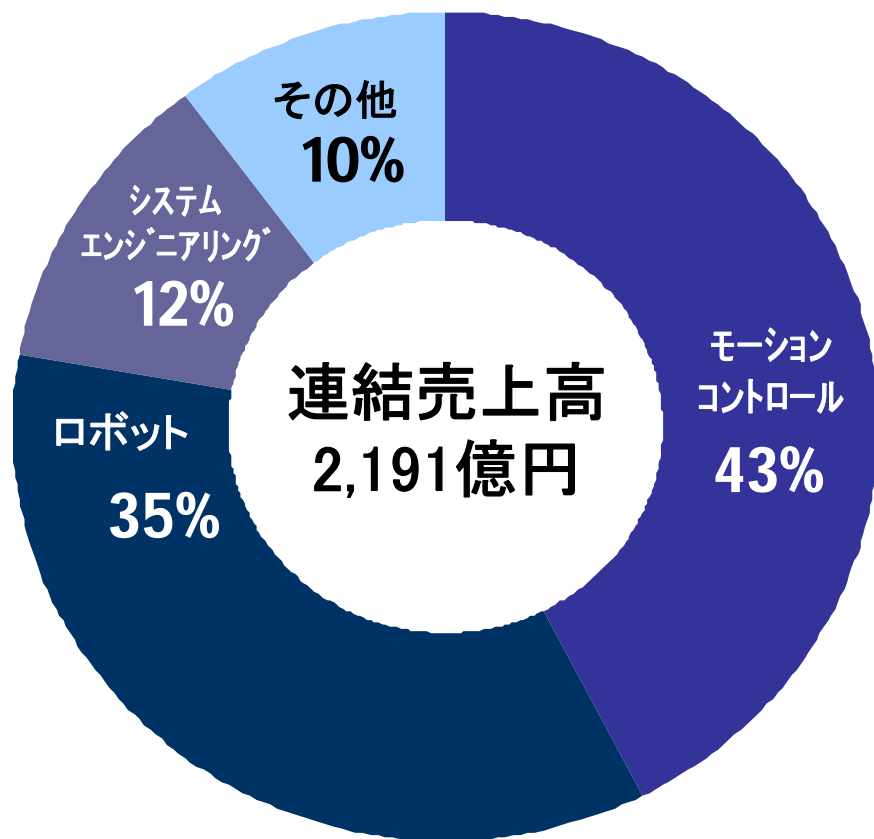
- ・鉄鋼プラント向けは端境期
- ・国内主力市場の低迷で減収減益

(注) 表記(M) = モーションコントロール、(R) = ロボット、(S) = システムエンジニアリング

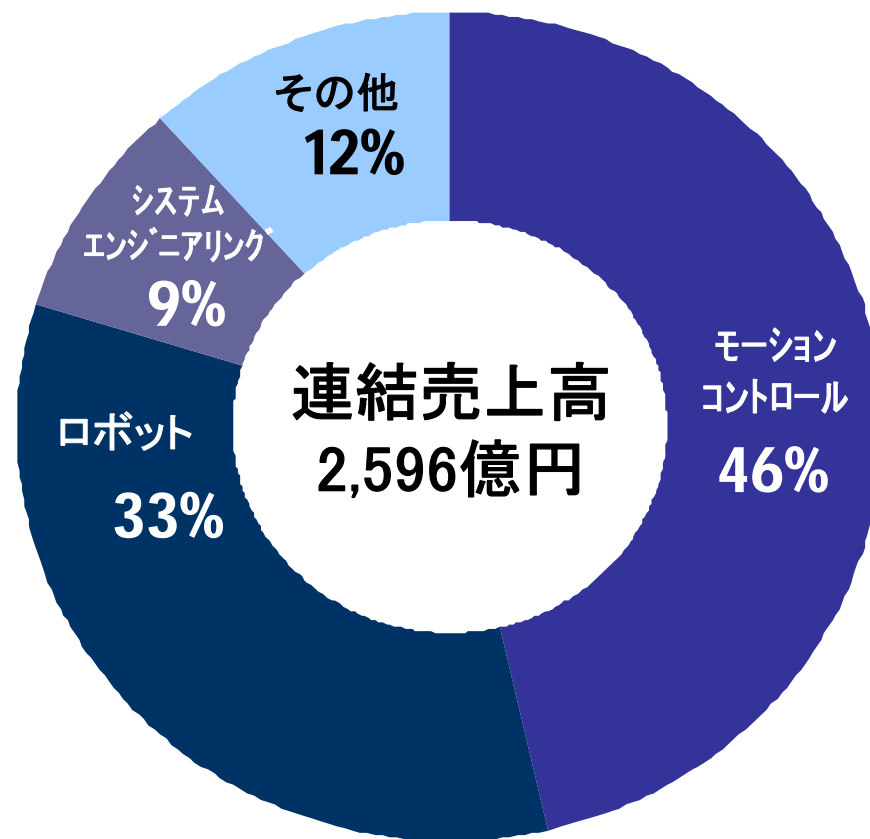
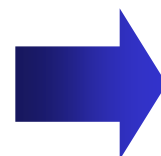
事業セグメント別売上高構成比

- ・ 好調な中国市場および太陽光パワコンを中心に(M)が伸長

12年度4-12月期



13年度4-12月期



仕向先別売上高(12/4-12月期⇒13/4-12月期)

・円高是正により海外売上高比率が拡大

(単位:億円)

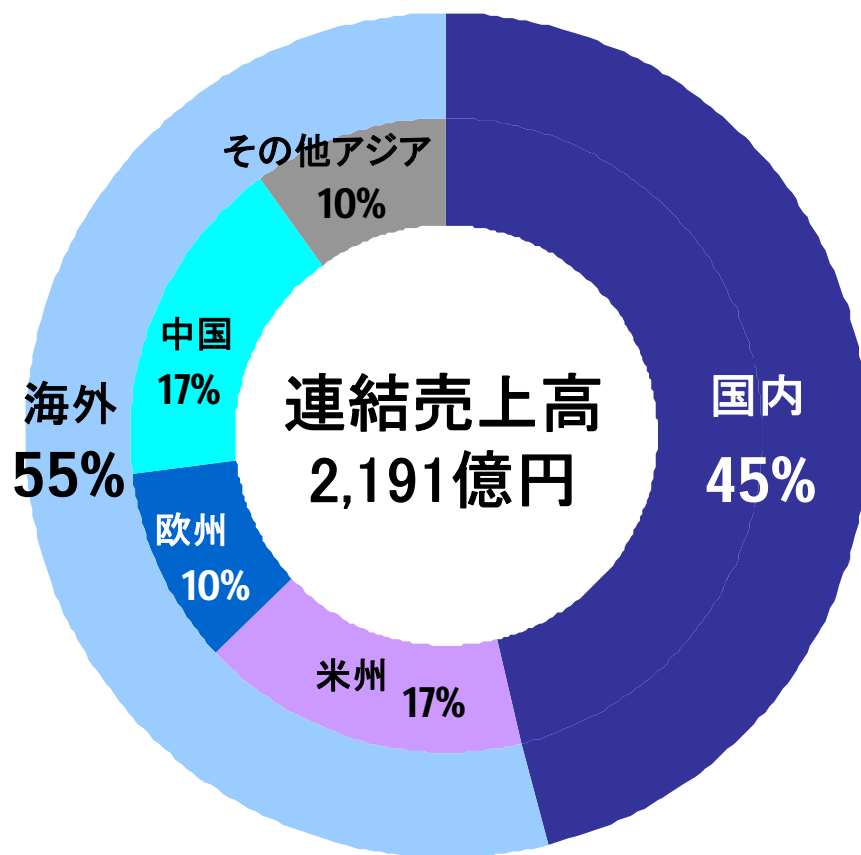
	2013年度 4-12月期	2012年度 4-12月期	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	2,596	2,191	+405	+18.5%
国内	1,024	979	+45	+4.6%
海外	1,572	1,212	+360	+29.7%
米州	428	367	+61	+16.6%
欧州	313	219	+94	+42.7%
中国	502	376	+126	+33.4%
その他アジア	300	227	+72	+31.8%

(注) 内訳には「その他地域(南アフリカ、オーストラリア等)」の記載は割愛しています。

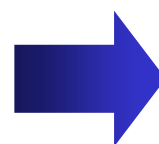
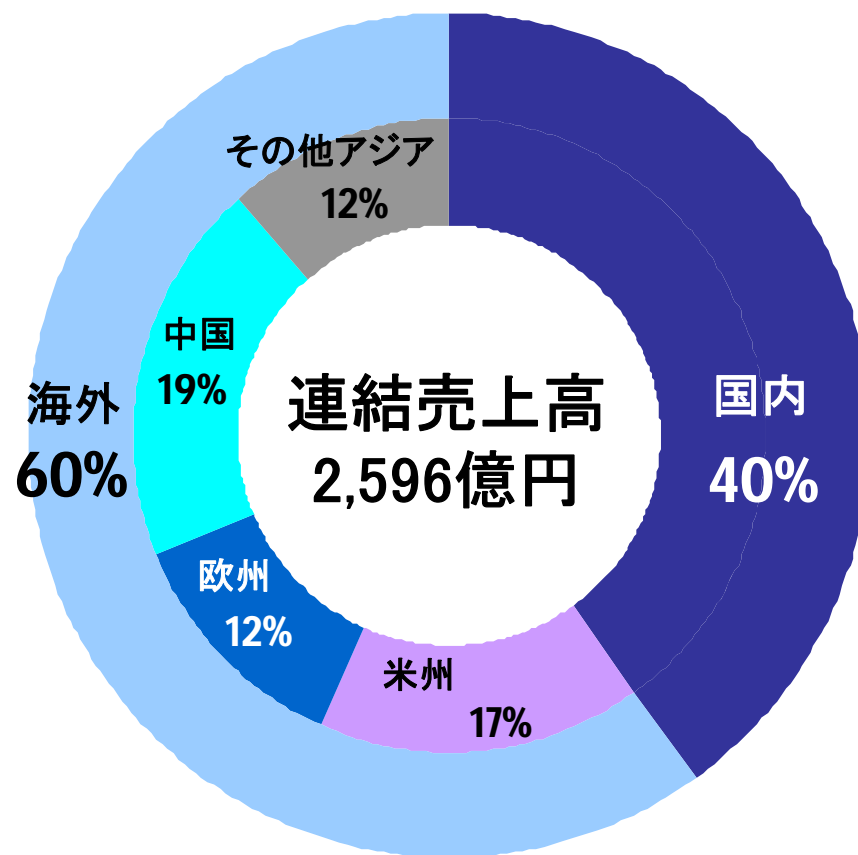
仕向先別売上高構成比

- 中国・欧州を中心に、海外売上高比率が伸張

12年度4-12月期

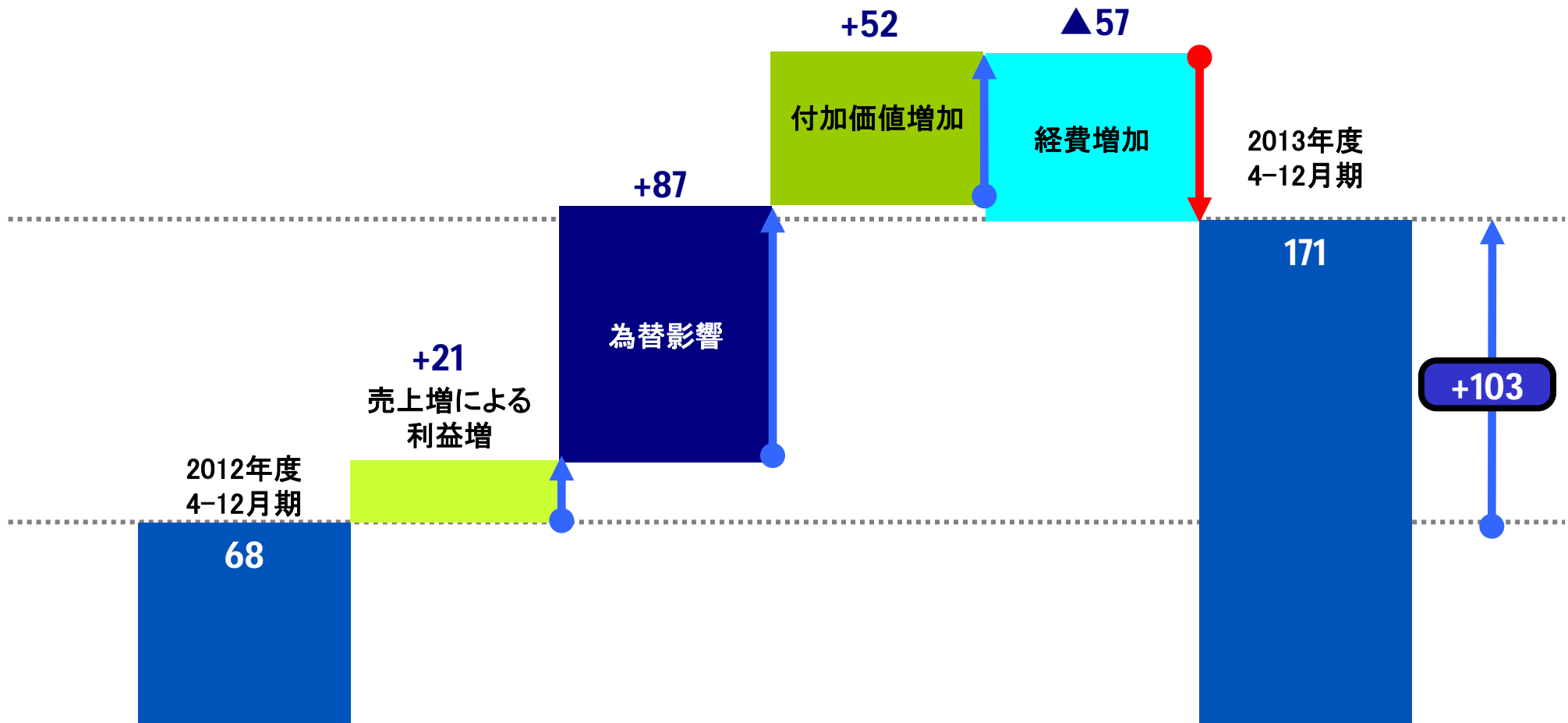


13年度4-12月期



営業利益増減要因分析(12年度4-12月期⇒13年度4-12月期)

(単位:億円)



2. 2013年度通期見通し

2013年度通期業績見通し(概要)

- ・(M)は半導体向けを中心に回復基調
- ・(R)は自動車向けを中心に高水準を持続
- ・13年度通期見通しは据え置き

	13/上期 実績	13/3Q 実績	13/4Q 計画	13/下期 計画	13/通期 計画	12/通期 実績	前年度比	
							増減額	増減率
売上高	1,772億円	824億円	1,004億円	1,828億円	3,600億円	3,104億円	+496億円	+16.0%
営業利益	126億円	45億円	84億円	129億円	255億円	131億円	+124億円	+95.1%
経常利益	134億円	51億円	75億円	126億円	260億円	141億円	+119億円	+85.0%
当期純利益	73億円	40億円	42億円	82億円	155億円	68億円	+87億円	+127.9%

(注)表内「13/通期計画」は、2013年10月18日発表の計画数値

参考資料

設備投資、研究開発費、為替状況

◆設備投資の状況(連結)

(単位:億円)

	2011年度	2012年度	2013年度計画
設備投資額	99.1	158.9	220.0
減価償却費	76.1	81.1	95.0

◆研究開発投資の状況(連結)

(単位:億円)

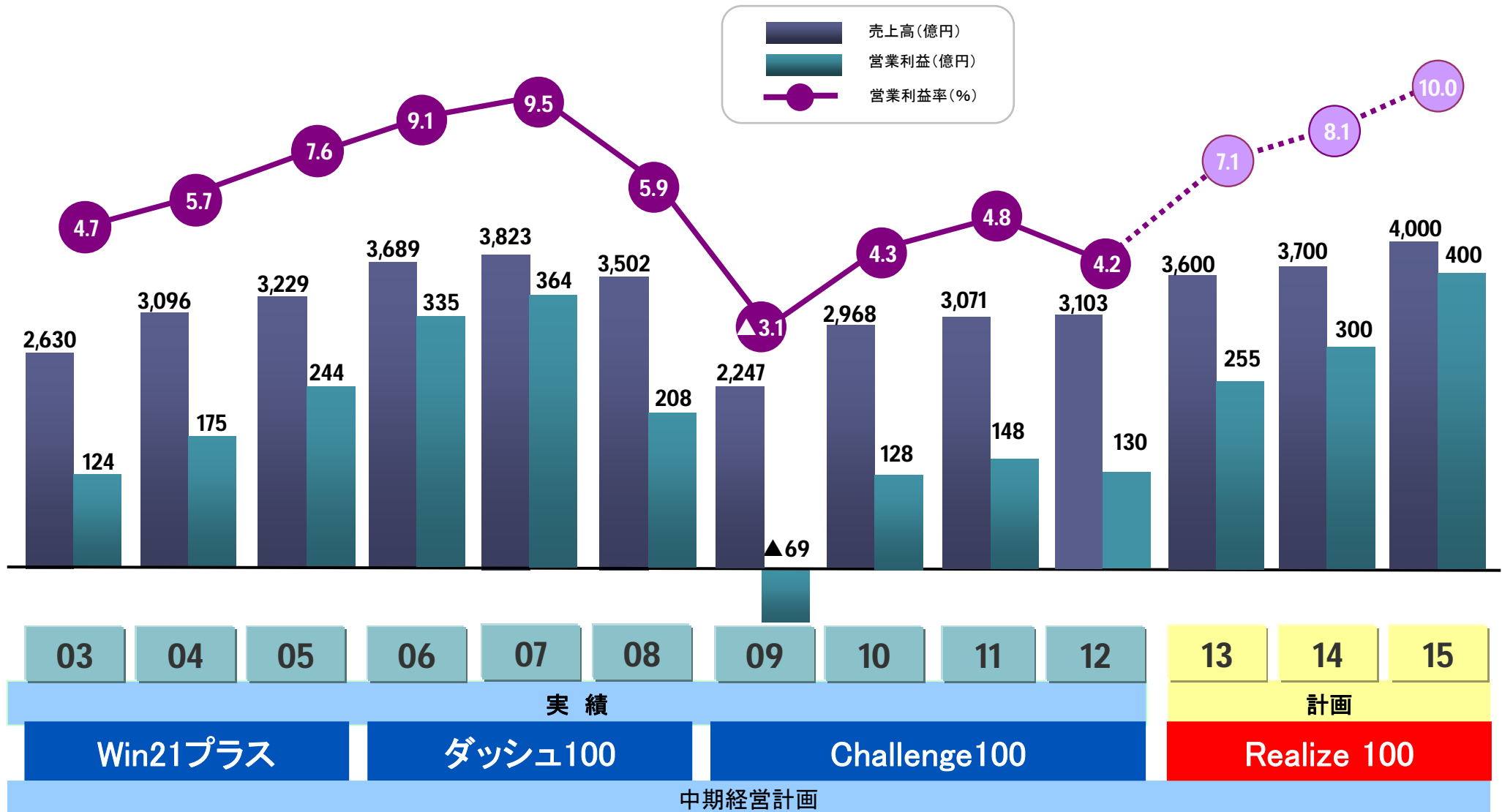
	2011年度	2012年度	2013年度計画
研究開発投資	103.9	107.3	130.0

◆為替状況(連結)

	2011年度		2012年度		2013年度	
	11/4-12	通期	12/4-12	通期	13/4-12	年度想定
対 米ドル	79.4円	79.0円	79.9円	81.9円	98.4円	98.3円
対 ユーロ	112.0円	109.5円	102.1円	105.7円	130.2円	130.1円

(注)期中平均レート

連結売上高・営業利益推移(2003年度～2015年度計画)



B/S構造の推移

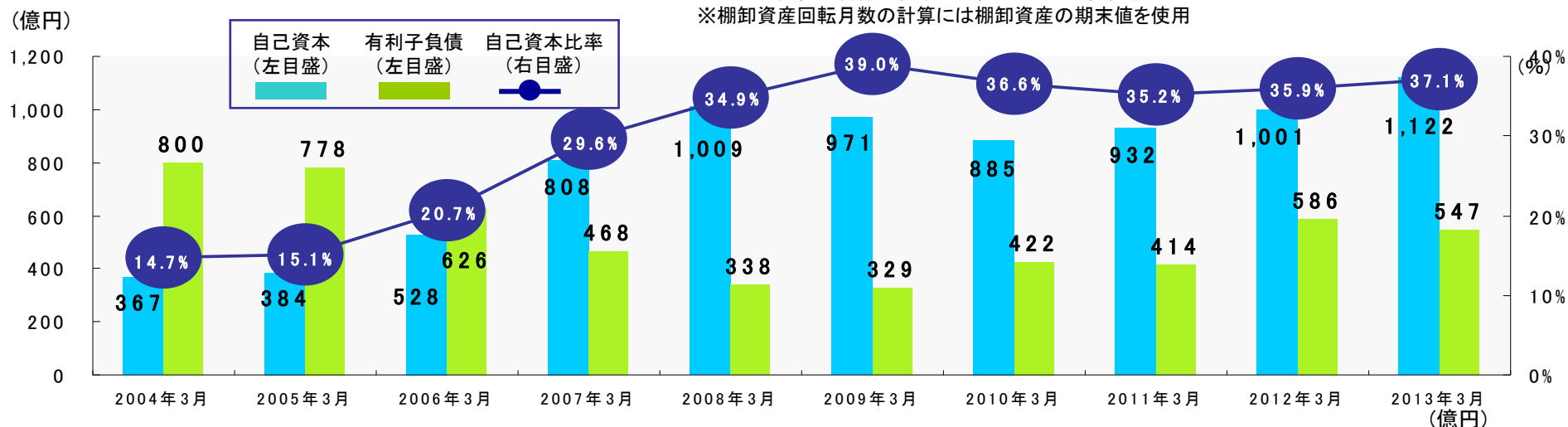
2013年3月20日時点

- 自己資本比率 37.1%
- 自己資本 1,122億円
- 有利子負債 547億円
- D/Eレシオ 0.49
(ネットD/Eレシオ) 0.31
- 棚卸資産 643億円
(回転月数) (2.5ヶ月)

2013年12月20日時点

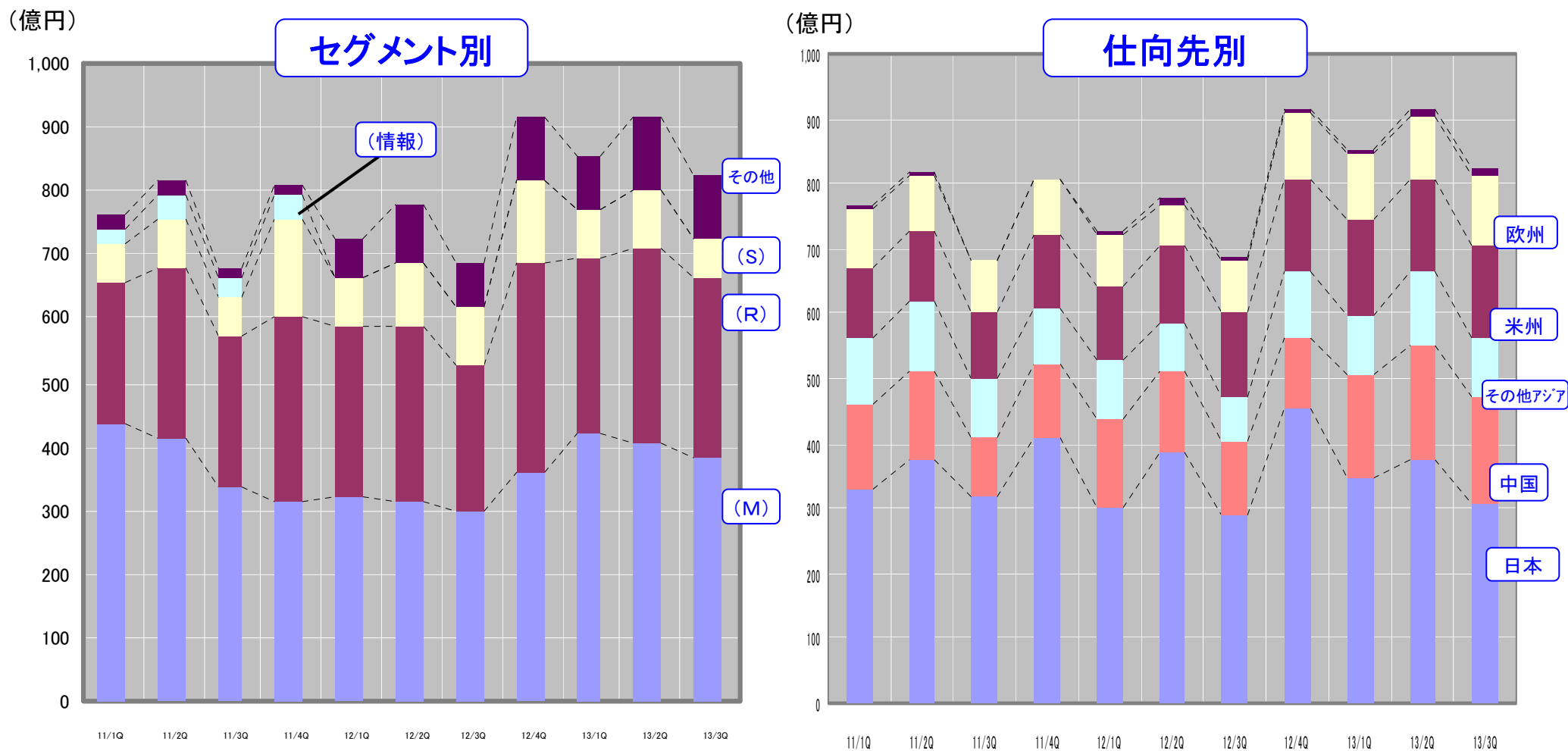
- 自己資本比率 39.5%
- 自己資本 1,294億円
- 有利子負債 511億円
- D/Eレシオ 0.40
(ネットD/Eレシオ) 0.22
- 棚卸資産 820億円
(回転月数) (2.8ヶ月)

※有利子負債は新株予約権付社債及びリース債務を含む。
※棚卸資産回転月数の計算には棚卸資産の期末値を使用



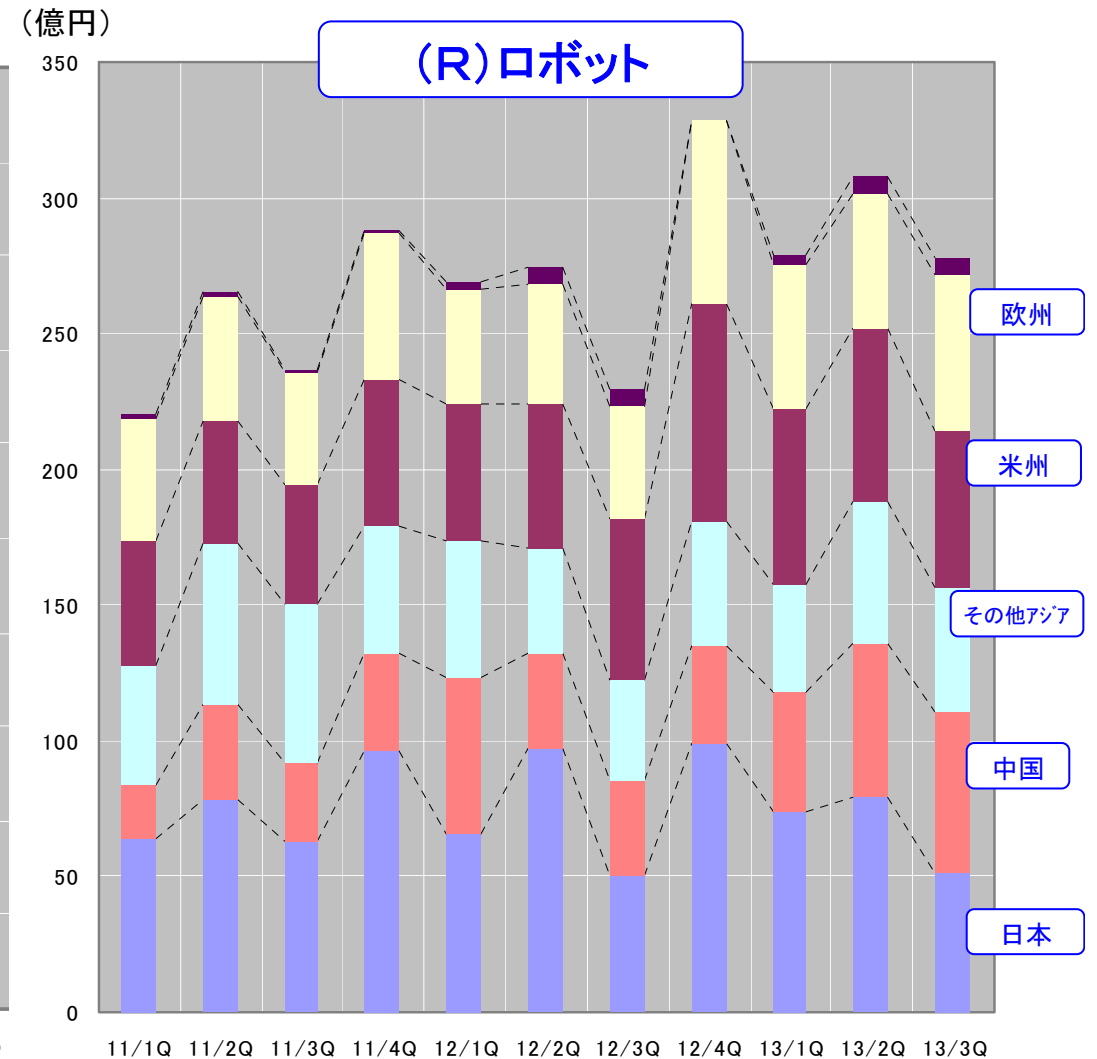
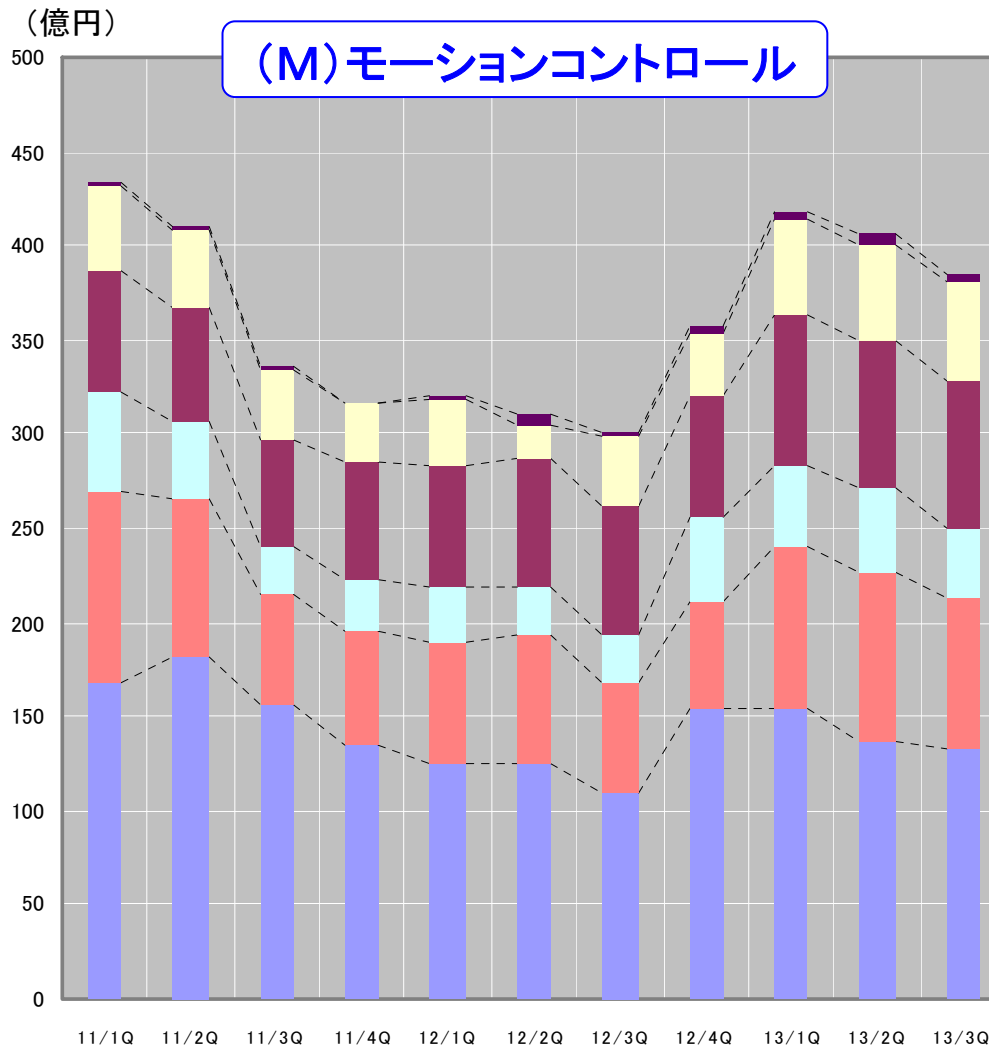
営業CF	185	58	187	150	177	125	40	25	64	246
投資CF	11	▲22	▲97	▲61	▲99	▲107	▲65	▲67	▲119	▲181
フリーCF	196	35	90	89	78	18	▲24	▲43	▲55	66

四半期連結売上高推移



- (注) 1. 表記: (M) = モーションコントロール (R) = ロボット (S) = システムエンジニアリング
 2. 2013年7月18日発表のセグメント変更後のベースで、12年度1Qまで遡り修正

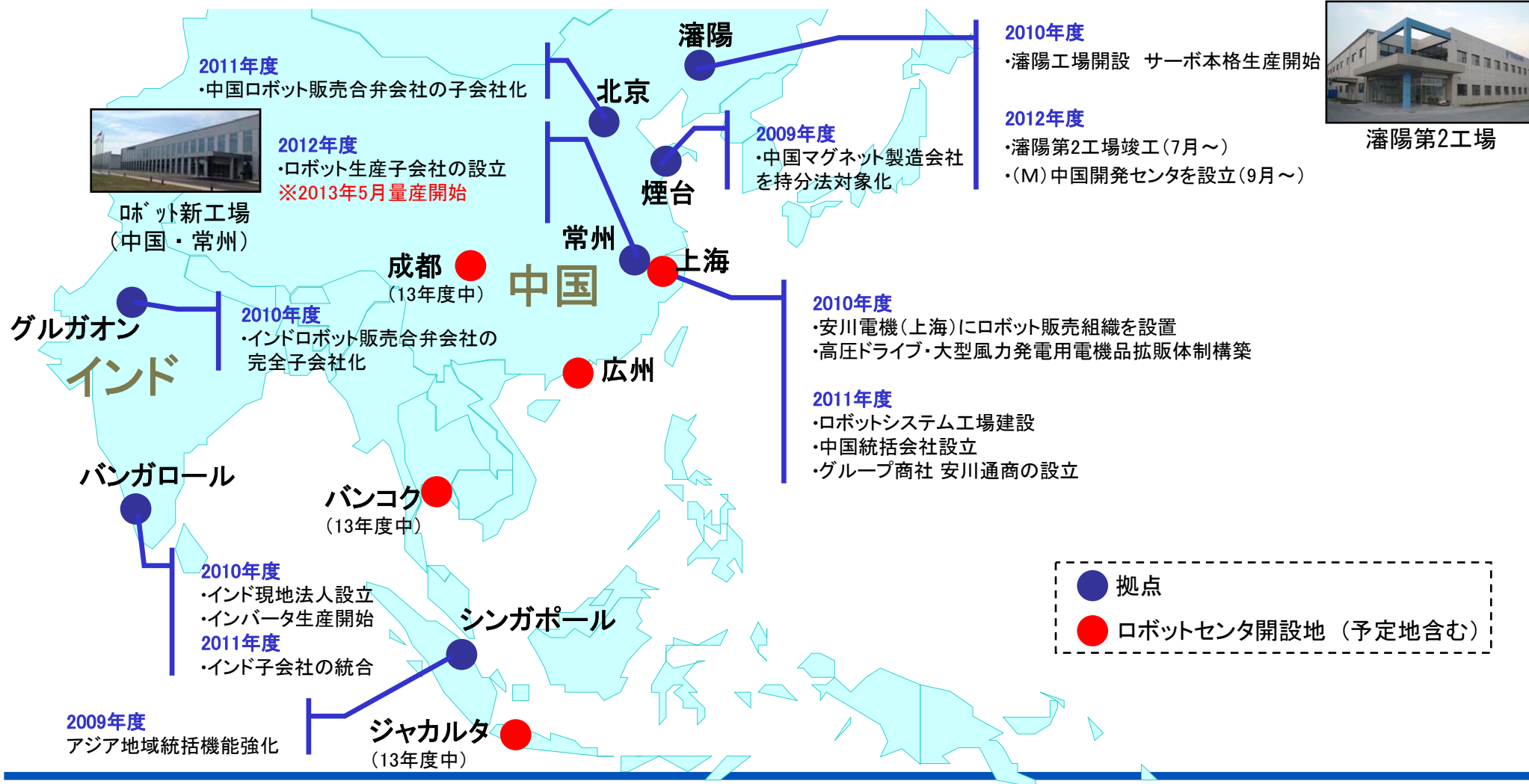
四半期連結売上高推移



(注) 2013年7月18日発表のセグメント変更後のベースで、12年度1Qまで遡り修正

中国・アジア地域における取り組み強化

- ・中国を中心に需要地生産・調達の拡大
- ・中国・アジアでのロボットセンタ新設強化により拡販を加速



主要生産拠点



注記

本資料に記載されている業績見通しは将来の予測であり、当社が現時点で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまな要因により、この見通しとは異なることがあります。

実際の業績等に影響を与えうる重要な原因には当社の事業領域を取り巻く国内外の経済情勢、当社製品・サービスに対する需要動向、為替・株式市場の動向などがあります。

なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。